

令和7年度

地域とともにある学校づくり

西東京市立東小学校 5年生

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名： 情報を生かす産業
(活動名)

ねらい： 社会科の「情報を生かす産業」の学習で、身近にある様々な情報をどのように活用しているか学習し、情報を活用することのよさに気付けるようにする。
セブン-イレブン・ジャパンの方に協力いただき、実際のレジ打ち体験やおにぎり発注体験、地域にある実際のお店の店長さんへの取材を行うことにより情報の重要性に気付けるようにする。

【レジ打ち体験】

レジ打ち体験では、実際の会計時どのように情報を入手しているかをセブン-イレブン・ジャパンの方々に説明してもらいました。実際のレジを体験しないと気付けないことにたくさん気付きました。



学習を進めていく中で、コンビニでは、食品の一部が廃棄になることがあることを学びました。そしてそれらの食品は、情報を上手く活用すると少なくできることが分かりました。これは食品ロスを減らす取り組みにつながると気付きました。

そこで、POSレジ体験をしている間に「手前どり」のPOP（お店の中に貼る掲示物）を手作りしました。



まとめ

社会科の「情報を生かす産業」の学習で、身近にある様々な情報をどのように活用しているかに着目して取り組むことができました。

学習を進めるにあたり、セブン-イレブン・ジャパンの方にご協力いただき、レジ打ち体験やおにぎり発注体験、地域にある実際のお店の店長さんへの取材映像など地域に密着した教材を使って学習することができました。

学習を通して現代社会では食品ロスが多いことが問題であるためSDGsに取り組むことの大切さに気付きました。